
第 22 報 平成 30 年 10 月 18 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

平成 28 年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格及び供給情報について、平成 30 年 10 月 17 日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

【生コンクリート】

（熊本地区）

熊本地区の9月の出荷量は6万7,022m³と前年同月比5.6%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。熊本交通センターの跡地再開発工事や熊本市民病院の移転工事等の大型民間工事や震災復興に伴う道路・護岸工事等の大型物件を抱えており、需要は堅調。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万5,500円どころを横ばいで推移している。熊本地区生コン協組では、昨年度来よりの値上げ打ち出し額1,000円の満額確保を目指して需要者側と交渉を継続している。しかし、需要者側は値上げに抵抗しており、市況に変動はみられない。先行き、横ばい推移の見通し。

（阿蘇地区）

阿蘇地区の9月の出荷量は2万2,673m³と前年同月比80%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。震災復興関連工事向け等の大型物件向けへの出荷が当面は続く見込みで、今後も、需要は堅調に推移する見通し。それに伴いアジテーター車が不足していることから、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、震災復興関連需要による出荷量の増加に対応するため、他地区からのアジテーター車のチャーターを増やすなど安定供給に努めている。先行き、横ばいで推移する見通し。

【再生クラッシュラン】

（熊本地区・阿蘇地区）

価格は再生クラッシュラン40～0mmが熊本地区でm³当たり2,000円、阿蘇地区でm³当たり3,200円どころを横ばいで推移している。

阿蘇地区においては、震災復興に伴う道路工事向けの出荷が旺盛で需給はややひっ迫している。そのような状況下、販売側は設備更新費や輸送コストの一段高等を背景に値上げを打ち出し、売り腰を強めている。ただ、需要者側の抵抗もあり浸透には時間を要する見込み。先行き、横ばいで推移する見通し。

熊本地区においても同様に震災復興関連工事に伴う路盤材需要は増加傾向にあるが、益城、御船等の一部の地区に限定されており、需給のひっ迫感はみられない。販売側も現行価格の維持に注力しており、先行き、横ばいで推移する見通し。

【アスファルト混合物】

（熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の8月の製造数量は5万4,252tと前年同月比約28%の減少（日本アスファルト合材協会調べ）。熊本市内の需要は中心部においては減少傾向にあるが、益城、御船、阿蘇地区の需要は震災復興道路工事を中心に堅調である。

価格は再生密粒度(13)が熊本地区でt当たり11,000円どころ、阿蘇地区でt当たり12,200円どころを横ばいで推移している。主原材料であるスト・アス価格が上昇しており、供給側はコストアップ分を製品価格に転嫁したい意向を示している。ただ、中心部の需要が減少するなか、需要者側の購買姿勢は依然厳しく、現行価格を維持するのが精いっぱい状況。先行き、熊本地区、阿蘇地区とも横ばいで推移する見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【平成30年10月17日現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
		需給	価格見通し						
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [132]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [193]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砕石 20～5mm [193]	熊本	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,400	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	300円上伸	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
再生 クラッシュラン 40～0mm [193]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,200	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [324]	熊本	2018年 5月号	200円下落	t	11,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【平成30年10月17日現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [24]	熊本	価格はSD295A・D16でt当たり1,000円上昇し、7万2,000円となった。復興工事や民需により、需要が堅調に推移する中、メーカーは鉄屑や副資材の価格上昇を背景に値上げを表明。販売側も売り腰を引き締めたことから、価格は上昇した。値上げの未転嫁分を残す販売側は強い売り腰を維持するとの見方が強く、先行き、強含み。	均衡	均衡	強含み
型枠材 コンクリート型枠用合板 [217]	熊本	価格は、無塗装品ラワン、12×900×1800mmで枚当たり1,360円と前月比20円の上伸。産地側の原木不足による製品の高値感は続いており、流通筋も仕入れコスト上昇分を転嫁するべく依然として売り腰は強い。需要面では、熊本市中心部の大規模再開発や民間建築工事への出荷は続いており、先行きも強含みで推移。	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

【主要資材の価格推移】





